

相生市立双葉中学校 学校経営方針

1 学校教育目標

学校教育目標

自ら学び やさしく たくましく生きる生徒の育成

～共に学び、共に伸びる～

めざす姿

- 一人一人がいきる学校
- ふれあいのある学校
- 家庭・地域に開かれた学校
- 心やすらぐ美しい学校

- 思いやりの心を持つ生徒
- 自ら考え行動できる生徒
- 進んで学習に取り組む生徒
- 最後まであきらめず、やり抜く生徒

- 愛情と厳しさをもち、生徒・保護者から信頼される教員
- 「学校が楽しい」と実感させる教員
- 発想豊かで、実践を通して積極的に行動できる教員
- 健康で明るく、常に自己変革を図ろうとする教員



2 学校経営の基本方針

<双葉中学校は>

- ・人権尊重の精神を基盤にして、豊かな心と確かな学力を育み、たくましい実践力をもつ生徒を育成します。
- ・保護者、地域との連携・協力と子どもの成長にかかわる様々な機会をつくり、家庭の教育力の向上を支援します。

<重点目標>

- 授業を大切にします。
 - ・わかる授業⇒成就感・達成感⇒自己肯定感（有用感）を高める⇒学力向上
- 率先垂範します。
 - ・教師は子どもたちにとって最大の教育環境、向上心のある教師から子どもは学ぶ。
- チームワークを大切にします。
 - ・一人で抱え込まない。
 - ・一人より皆でできることの方がずっと大きい。

<具体的な取り組み>

《学習指導》

- 主体的で対話的な深い学びの授業改善に向けた研修を推進する。
- 双中校区学習指導スタンダードにより、授業の流れを揃え基礎基本の定着を図る。
- 個に応じた学習内容や学習形態を工夫し、自主的・意欲的な態度を育成する。

《生徒指導》

- 生徒と教師の心のふれあいを深め、生徒の内面理解に基づく生徒指導に努める。
- いじめ防止の推進と早期発見、早期解決に努める。
- 不登校に対する取り組みに努める。
- SC、SSWや適応教室と連携を図り、教育相談を充実する。

《道徳・人権教育》

- 人権意識を高め、差別や人権問題について正しく判断する力や態度を育成する。
- 道徳の授業を中心に自尊感情や人間関係力を高め、豊かな人間性を育成する。

《特別活動》

- 「双中CC」などの体験活動により、奉仕・命の大切さ・思いやりの心を育てる。
- 学校行事を充実させ成就感や達成感を味わわせ、自主性や責任感を育てる。
- 生徒会活動や学年・学級活動を活性化し、自主的・主体的に取り組む態度を育成する。

《特別支援教育》

- 生徒のニーズを把握し個に応じた指導の充実を図り、社会の一員として主体的に生活できるよう支援する。
- 交流活動を推進し学習や生活意欲を育てたくましく生きる力を培う。

《キャリア教育》

- 正しい職業観を身につけられるよう3年間を見通したキャリア教育を推進する。
- 自己の適正をつかみ、夢や希望をもって自己実現できるよう支援する。

《小中一貫教育》

- 小学生が中学校を体験する機会を持ち、小学校から中学校への円滑な移行を促す。